

〔 2026 年 4 月 1 日から
2027 年 3 月 31 日まで 〕

2026 年度事業計画（概要）

1. 第40回(2025)京都賞関連行事「Kyoto Prize at Oxford」(英国オックスフォード)の支援
2. 第41回(2026)京都賞受賞者の審査及び決定
対象分野 先端技術部門 : エレクトロニクス
 基礎科学部門 : 生物科学(進化・行動・生態・環境)
 思想・芸術部門 : 音楽
- 第41回(2026)京都賞授賞式及び関連行事の開催
- 第41回(2026)京都賞関連行事「Kyoto Prize Symposium」(米国サンディエゴ)の支援及び寄附
3. 第42回(2027)京都賞候補者推薦の受付及び審査選考の開始
4. 第43回(2028)京都賞授賞対象分野及び審査機関委員の決定

1. 稲盛研究助成
 - ・ 2026 年度 稲盛研究助成金の贈呈及び 3S 交流会の開催
 - ・ 2027 年度 稲盛研究助成の申請受付と助成対象案件の審査及び決定
 - ・ 2028 年度 稲盛研究助成選考委員の決定
2. 稲盛科学研究機構(InaRIS)フェローシップ
 - ・ 2026 年度 InaRIS フェロー称号の授与
 - ・ 2026 年度 アドバイザリーボードミーティングの開催
 - ・ 2026 年度 中間審査会の開催
 - ・ 2027 年度 InaRIS フェローシップの申請受付と InaRIS フェローの審査及び決定
 - ・ 2027 年度 InaRIS 運営委員の決定
 - ・ 2028 年度 InaRIS フェロー選考委員の決定

1. こどものキズキ応援プロジェクトの推進
2. INAMORI ミュージック・デイ 2026 の開催
3. 「京都大学－稲盛財団合同京都賞シンポジウム」の共催
4. 米国「倫理と叡智のための稲盛国際センター」の活動支援

I. 顕彰事業

1. 第 40 回(2025)京都賞に関する事項

- (1) 英国オックスフォード大学主催「Kyoto Prize at Oxford」の支援
2026 年 5 月、第 40 回(2025)京都賞受賞者を迎えて開催される英国オックスフォード大学主催の「Kyoto Prize at Oxford」の開催を支援するとともに、英国から世界に向けて京都賞を発信する。

2. 第 41 回(2026)京都賞に関する事項

- (1) 京都賞審査機関による審査
2026 年 4 月、京都賞委員会にて、第 41 回(2026)京都賞審査機関の各部門専門委員会及び審査委員会において審査選考された候補者について最終候補者を選定し、5 月開催の定時理事会に上申する。
- (2) 受賞者の決定と発表
2026 年 5 月の定時理事会にて、京都賞委員会から上申された最終候補者を承認し、受賞者として決定する。また 6 月の記者発表にて受賞者名及び受賞理由を公表する。
- (3) 授賞式及び関連行事の開催
2026 年 11 月 10 日、第 41 回(2026)京都賞授賞式及び晩餐会を京都市内にて執り行う。また、翌 11 月 11 日、受賞者による記念講演会を開催する。
- (4) 米国サンディエゴにおける「Kyoto Prize Symposium」の支援及び寄附
2027 年 3 月、第 41 回(2026)京都賞受賞者を迎えて米国サンディエゴにおいて開催される「Kyoto Prize Symposium」の開催を支援する。また、本年度は 2023 年 3 月再調印の覚書に基づいた京都賞シンポジウム組織及び共催大学（カリフォルニア大学サンディエゴ校、ポイント・ロマ・ナザレン大学）への第 4 回目 35 万ドルの寄附に加え、本行事が 25 年目を迎えたことに対して 5 万ドルの特別寄附を行う。（2023 年度から 2026 年度までの 4 年間で総額 140 万ドルを覚書に基づき寄附、加えて 2026 年度は 5 万ドルを特別寄附）

3. 第 42 回(2027)京都賞に関する事項

- (1) 推薦依頼と受付
推薦依頼先の名簿を作成し、推薦依頼を行うとともに、推薦の受付を行う。

- (2) 京都賞審査機関による審査
第42回(2027)京都賞審査機関にて、候補者の審査選考を行う。
- (3) 授賞式及び関連行事の企画
第42回(2027)京都賞授賞式及び関連行事の企画を行う。

4. 第43回(2028)京都賞に関する事項

- (1) 授賞対象分野の決定
2026年10月、臨時理事会にて、第43回(2028)京都賞授賞対象分野を承認、決定する。
- (2) 京都賞審査機関委員の決定
2026年10月、臨時理事会にて、第43回(2028)京都賞審査機関委員を承認、決定する。

II. 研究助成事業

1. 稲盛研究助成

(1) 2026年度 稲盛研究助成に関する事項

- ① 2026年度稲盛研究助成金の贈呈及び3S交流会の開催
2026年4月、二つのコース「はぐくむ」「たかめる」に拡充後、初の式典となる2026年度稲盛研究助成金贈呈式を京都市内にて開催する。また、同日、これまでの助成対象者を会員母体とする盛和スカラーズソサエティによる3S交流会を開催する。

(2) 2027年度 稲盛研究助成に関する事項

- ① 募集案内の発送と受付
募集案内を発送するとともに、ウェブにて申請の受付を行う。
- ② 稲盛研究助成選考委員会による選考
2026年12月、稲盛研究助成選考委員会にて、助成対象者の選考を行う。
- ② 稲盛研究助成対象者の決定と発表
2027年3月、定時理事会にて、稲盛研究助成選考委員会において選考された助成対象者を承認、決定する。なお、「はぐくむ」コースの助成対象者は50名、

研究助成金は1名あたり200万円とし、「たかめる」コースの助成対象者は10名、研究助成金は1名あたり1,000万円とする。助成対象者を決定次第、本人へ通知するとともに、氏名を発表する。

(3) 2028 年度 稲盛研究助成に関する事項

① 稲盛研究助成選考委員の決定

2027年3月、定時理事会にて、2028年度稲盛研究助成選考委員を承認、決定する。

2. 稲盛科学研究機構(InaRIS)フェローシップ

(1) 2026 年度 稲盛科学研究機構(InaRIS)フェローシップに関する事項

① InaRIS フェロー称号の授与

2026年4月、2026年度InaRISフェロー授与式を京都市内にて開催する。

② アドバイザリーボードミーティングの開催

2026年10月、アドバイザリーボードミーティングにて、在籍するInaRISフェローの1年間の研究成果並びに今後1年間の研究計画を報告する。

③ 中間審査会の開催

2026年10月、中間審査会にて、助成開始から3年目及び6年目のInaRISフェローより、3年間の研究成果並びに今後3年間の研究計画の報告を受ける。

(2) 2027 年度 稲盛科学研究機構(InaRIS)フェローシップに関する事項

① 募集案内の発送と受付

募集案内を発送するとともに、ウェブにて申請の受付を行う。

② InaRIS フェロー選考委員会による選考

2026年11月及び12月、InaRISフェロー選考委員会にて、助成対象者の選考を行う。

③ InaRIS フェローの決定と発表

2027年3月、定時理事会にて、InaRISフェロー選考委員会において選考されたInaRISフェローを承認、決定する。なお、InaRISフェローは2名、各1名につき1年あたり1,000万円を10年間(合計1億円)助成するものとし、InaRISフェローを決定次第、本人へ通知する。

④ InaRIS 運営委員の決定

2027 年 3 月、定時理事会にて、2027 年度 InaRIS 運営委員を承認、決定する。

(3) 2028 年度 稲盛科学研究機構(InaRIS)フェローシップに関する事項

① InaRIS フェロー選考委員の決定

2027 年 3 月、定時理事会にて、2028 年度 InaRIS フェロー選考委員を承認、決定する。

Ⅲ. 社会啓発事業

1. こどものキヅキ応援プロジェクトの推進

「こどもたちが不思議を見つけて、自ら深め、連鎖的に増やすことを応援する」をコンセプトに、こどもたちのキヅキを促し、受け止め、答えを出す場ではなく自分で調べてみようと思うきっかけとなる場を提供する。

(1) こども科学博

2026 年 7 月 31 日、8 月 1 日、2 日の 3 日間、京都市勧業館（みやこめっせ）にて、「こども科学博 2026」を開催する。

(2) キヅキランド

動画や静止画を観察し、発見や疑問を画面に描き込んで他の人と共有できるウェブサイト「キヅキランド」の運用を行うとともに、その仕組みを活用した第三者によるワークショップ等の活動の普及を促進する。

その他、コンセプトを共有するパートナーと協働したワークショップを適宜開催する。

2. INAMORI ミュージック・デイ 2026 の開催

音楽分野の振興を目的に、若い世代を含む多くの方々が音楽に触れ心豊かな感動を得る場を創出するため、INAMORI ミュージック・デイ 2026 を開催する。

(1) シンフォニックコンサート

2026 年 11 月 3 日、ロームシアター京都にて、シンフォニックコンサートを開催する。

(2) ミニコンサート

文化施設等にて、ミニコンサートを開催する。

(3) スクールコンサート&レッスン

2026 年 10 月、京都府下の高校にて、コンサートやレッスンを行う。

3. 「京都大学－稲盛財団合同京都賞シンポジウム」の共催

2026 年 1 月再調印の寄附覚書に基づき、京都賞に対する社会の期待と関心を高めるとともに、学術・芸術の振興に寄与し、併せて京都大学と当財団の協力関係を強化することを目的に、「京都大学－稲盛財団合同京都賞シンポジウム」を京都大学と共催し、第 1 回 2,000 万円の寄附を実施する。(2026 年度から 2029 年度までの 4 年間で総額 8,000 万円を寄附予定)

4. 米国「倫理と叡智のための稲盛国際センター」の活動支援

当財団からの寄附金（総額 1,100 万ドル）で設立されたケースウエスタンリザーブ大学「倫理と叡智のための稲盛国際センター」が開催する稲盛倫理賞関連行事をはじめ、同センターの活動を支援する。

IV. その他

1. 広報活動

(1) 記者発表

2026 年 6 月、京都賞受賞者発表記者会見を実施する。その他、京都賞顕彰事業、研究助成事業、社会啓発事業に関連したプレス資料を関係記者クラブ及び記者に対し、随時配布する。

(2) 刊行物の発刊

下記の刊行物を発刊し、関係先へ配布する。

- ・「稲盛財団ニュース」（紙媒体で随時発行）

(3) 電子媒体による情報発信

下記の電子媒体を通じて、京都賞や当財団の活動に関する情報を発信する。

- ・稲盛財団ホームページ
- ・京都賞サイト
- ・SNS (Facebook、X、Instagram、YouTube)
- ・メールマガジン「稲盛財団 Magazine」「Inamori Foundation e-Newsletter」(随時配信)
- ・3S 会員対象メールマガジン「3S Magazine」(随時配信)

（４）各施設での展示

下記の施設における京都賞や稲盛財団の取組みに関連した展示、展示協力を行う。

- ・京都市京セラ美術館（常設）
- ・鹿児島大学 稲盛記念館（常設）
- ・京セラ株式会社 稲盛ライブラリー（常設）
- ・京都市青少年科学センター（常設）